多賀町の河川の状況

　多賀町では家庭や事業所の産業活動から生じる汚水によって河川の水質が悪化することがないよう河川の水質調査を実施し水質を監視しています。
　町内で実施している水質調査の主な調査地点と調査項目の概要をお知らせします。

■調査地点　　犬上川・芹川（年２回実施）車戸川・太田川（年４回実施）

■水質調査結果

犬上川			
調査日	R3.6.14	R4.6.16	R5.6.7
PH	8.2	9.0	7.9
BOD（mg/L）	1.6	1.3	＜0.5
SS	1	3	1
DO	12	12	10
T－N（mg/L）	0.78	0.74	0.55
T－P（mg/L）	0.016	0.027	0.006

芹川			
調査日	R3.6.14	R4.6.16	R5.6.7
PH	8.4	8.5	8.2
BOD（mg/L）	1	1	0.5
SS	1	6	＜1
DO	13	12	9.6
T－N（mg/L）	0.82	1	0.99
T－P（mg/L）	0.014	0.008	0.014

車戸川			
調査日	R3.6.14	R4.6.16	R5.6.7
PH	8.3	8.3	7.4
BOD（mg/L）	3.2	0.6	2.8
SS	1	1	4
DO	11	9.6	9.6
T－N（mg/L）	0.45	0.39	0.7
T－P（mg/L）	0.009	0.01	0.004

太田川			
調査日	R3.6.14	R4.6.16	R5.6.7
PH	8.8	9.2	9.0
BOD（mg/L）	4.5	1.8	2.7
SS	1	1	1
DO	13	11	10
T－N（mg/L）	0.79	0.76	0.53
T－P（mg/L）	0.029	0.031	0.023

※水質指標

pH…水素イオン濃度。pH＝7を中性とし、pHが小さくなるほど酸性を示し、pHが大きくなるほどアルカリ性を示す。

BOD…生物化学的酸素要求量。水中の有機物を分解するために微生物が必要とする酸素の量を表したもの。
　　一般に、BODの値が大きいほど有機物が多く、その水質は悪いと言える。

SS…浮遊物質量。水中に浮遊する物質の量を表したもの。一般に値が大きいほど水の濁りが多いと言える。

DO…溶存酸素量。水中に溶けている酸素の量。一般にDOの値が小さいほど嫌気的な環境で、その水質は悪いと言える。

全窒素（T-N）・全りん（T-P）